

令和3年度 西砂学習館運営協議会（令和4年3月）会議録

日 時：令和4年3月10日（木）午後6時00分～午後9時00分

出 席：大橋 加藤 広瀬 浅見 小笠原 長谷川 岩元 小林 森

事務局：石川 平井 俣本

欠 席：増田

1 開会のあいさつ

大橋：3月4日「にしすな夜間塾」は中止になり残念。子どもの対象年齢が幼児～低学年で、実施が夜間であることを考えると参加が難しい時間や対象だったかと思った。

石川：地運協委員の任期が終わりになるが皆様には委員を継続して頂きたい。委員のタイプにより依頼の仕方が異なる。「西砂学習館中規模改修に対する要望」は、お気づきの点があればご記入下さい。3月18日が第1回目の締め切り。

2 令和3年度地域活性化講座について

(1) 「にしすな夜間塾〈第6弾〉」について

- ・日 時：3月4日（金）18：30～20：00
 - ・会 場：西砂児童館
 - ・内 容：読み聞かせ
 - ・講 師：六車 充子 氏、山田 悦子 氏
- ⇒ 参加者が集まらず中止（延期）☹

大橋：開催会場は、夜間は児童館、日中は保育の関係で西砂会館、西砂学習館での開催が可能。働く保護者に向けての講座を開くことについて、内容のアイデアや案があれば。

加藤：今回中止になったが読み聞かせは良い内容。来年度に実施しても良い。

広瀬：子どもの音感教育はどうか。

大橋：子どもへのスマホの持たせ方、スマホ脳、スマホでの撮影。読み聞かせ、読書。音感教育の案が出ている。

石川：読み聞かせは本当に良い内容。子どもと一緒に参加ということで、コロナ禍で、集まるのが難しかったと思う。西砂エリアは広いので、西砂会館で昼間の土曜日か日曜日の開催、年度の後半には児童館で夜の実施にし、その頃には食事が出せるので同じ内容で2回開催もできる。

(2) 来年度に向けて

① 検討済

◇ あいまいな部分はあるが、柱と対象はこれで良い。クロスする部分を意識して講座の企画をしていきたい。

・講座の柱について（参考：令和3年度）

- ① 地域の居場所作り
- ② 地域の発見
- ③ 新しい住民の地域デビュー

④ その他（防災・認知症講座 等）

・講座の対象について（参考：令和3年度）

- ① 子ども向け
- ② 保護者対象（旧名称：子育て世代）
- ③ 大人向け（旧名称：高齢者）

◇ 最近、余り宿題が出ていない。宿題の手助けより体験的なことを。午後も体験的なイベントを入れるようになったが、学習の時間はゼロにはしたくない。体験的なことも入れ、子ども達に一日充実した形でプログラムを考えたい。3月16日にコーディネーター交流会で、サマーイベントでの講座内容や学習について、4～5年間のまとめをお見せしてご意見を頂きたい。子どもにとって楽しい夏休みになる講座の企画ができると良い。予算について現在、西砂の催物予算と他館の子ども予算の調整をしているところ。

・具体的な講座内容について（確認）

○ 西砂サマーイベント～火曜日は学習館に行こう！～

② 検討課題（続き） ここから検討

○ にしすな夜間塾

大まかな内容： _____

大まかな日程： _____

○ 地元を学ぼう

⇒ 講師：豊泉喜一氏の続編でOK？

お願いしたい内容： _____

大まかな日程： _____

石川：引き続き豊泉先生にお願いし、講師のお伝えしたい所を中心をお願いしてはどうか。

広瀬：講師の話したい内容にすると、深く細かい内容になってしまう。新しい住民にこの地域を理解して頂きたいので、基本的な立川や砂川の歴史が良い。2～3回の講座で、1回はフィールドワークを入れても良い。

石川：フィールドワークでは学習館から西側の宮沢、殿ヶ谷に向けて歩く散策を入れても良い。

大橋：3年位のローテーションで同じ内容をしていけば地域を理解して貰い得ると思う。広いエリアなので、基本的なことを知るだけでも1度だけでは知ることができない。講座を受けてフィールドワークをするとより理解が深まる。

加藤：以前は小林養樹園、畑、酪農、養鶏所の見学を行った。

大橋：史跡、産業を通して地域を知ることがある。工業団地も巡るプログラムがまだない。産業を通して知ると言うことも一つの視点だと思う。

広瀬：ケーキ屋さんや直売所も入れられたら良い。

大橋：玉川上水はエリアの財産。玉川上水を歩く講座はまだやっていない。様々な講座の企画はできそうだが、長いスパンで計画を練らないと難しい。

○ 西砂川での災害を考える

⇒ 来年度も西砂町・一番町の自治会関係者を対象とするか？

大まかな内容： _____

大まかな日程： _____

石川：「西砂川での災害を考える〈第5弾〉自治会として何を考えようか！」には自治会の防災担当者に参加頂いた。来年も同じことをしても良いと意見がでていた。

大橋：前回の講座では、防災達人テストや浅見委員が提案してくれた「クロスロード」までできなかった。一人一人の意識が高まる方法を、自治会関係者を通して広まれば良いと思う。自助と共助を高めるのが大事。日程は立川災害ボランティアネットと決める。

○ 認知症予防講座

大まかな内容： _____

大まかな日程： _____

石川：毎年続けることが大切。同じプログラムの開催で良いか。

大橋：無理のない筋肉を作るゆったりトレーニングを入れた内容にできないか。「にしすな夜間塾〈第5弾〉～体操を楽しもう」の講師から、高齢者向けの筋トレも可能と聞いた。動けない身体を作らない事も大事。

浅見：この地域で高齢者の繋がり作りをしている「グッドネイバー西砂・一番」が筋力向上ゆっくり体操、関節に負荷をかけない筋力アップ体操、脳トレを行っている。

岩元：立川健康体操を立川市は作り、普及員も育てた。動きはたくさんある。

広瀬：高齢者をお世話する立場の人も認知症について知らない人が多い。老人会の関係者に参加してほしい。

石川：シンコースポーツに依頼をするか。

大橋：体操は岩元さんをお願いし、特別に講師を呼ばなくても良い。

岩元：講座の仕組みについて、フィジカルな方を増やし、座学を短縮する。

大橋：年々内容が改善されてきている。

○ 西砂産業まつり

今年度の検討内容：開催の目的や構想を考える。

立川工業会へのアプローチを考える。

石川：どのような人をお願いし、どのように進めれば良いか。

岩元：工業会の会長にお話はしてある。春に多摩地域のたま工業交流展がある。

大橋：まずは工業交流展の見学をし、様子を見るのはどうか。現状は作っているものすら分かっていない。

岩元：工業交流展にも出せない小さな会社がこの地域は多い。地図に会社名、作っている製品の名前をまとめることは可能。会社の名前と場所は分かる。

大橋：工業に関しては未知の分野、なんとか開拓したい。データを作ることが必要。

岩元：お弁当を作る会社や建築会社も工業会に入っている。松中小エリアで分かる所だけ書き込む。

広瀬：タイトルに「まつり」としているが、「産業を知ろう！」に変更が良い。何年か後には「まつり」としてやれたら良い。

岩元：工業会は、住宅地が広がり追い出されている現状があり、追い出されている感覚を持つ方もいる。都市化することにより、あつれきも生まれるのも現実。

大橋：マップがあれば子ども対象に工業地域を回るイベントを企画しスポットを当てていく。子どもが子どもの目線で見たとのを伝えていくのが良い。子ども達と一緒に地域を学ぶ使命がある。講座の内容としては子どもに視点を当てていく。

○ その他 新規に実施したい講座

大まかな内容： _____

大まかな日程： _____

広瀬：大学と一緒に企画をしている学習館もあるが西砂学習館はない。国立音楽大学が近くにあるので、連携して何かできれば西砂の特徴になると思う。

小笠原：学生も発表の機会が減っている。国立音楽大学はジャズ科や調律科が特徴的。子ども向けにはリトミックや楽器体験ができる。子ども向けもアプローチはしやすい。

加藤：市民企画では大人向けに「クラシック入門講座」を実施している。子ども向けも良い。

小笠原：「親子塾」を考えても良い。親子で音楽に触れる、音楽を聴く、体験する。松中小や七中では吹奏楽の土壌があるので、そのような視点を持つてくるのも面白い。

大橋：生活が豊かになる音楽の分野を考えても良い。

小笠原：既存の夜間塾の予算を使っても良い。

石川：西砂学習館の催し物の予算を使えば実施することは可能。

○ パパ・ママの西砂デビュー

今まで通り、「にしすな夜間塾」で兼ねることで良いか？

石川：「にしすな夜間塾」がある意味では西砂デビューを兼ねていた。

加藤：「夜間塾」ではなく「親子塾」にしたら良い。

大橋：名前をここで「親子塾」に変更するか。すると日中の開催に但し書きをする事もなくなる。

・その他の活動について

○ フリースペース・にしすな

小笠原：問題提起をしたいと思っていた。コロナ禍の食の事業について、主管課としては制限はするが全て禁止ではないと言われている。ただ、児童館として、職員が子ども達の安全を考え、全て中止にしている。配布資料「令和4年度 フリースペース・にしすな年間計画第1案」はこれくらいが出来たら良いかなと思いを含めて作った。9年間フリースペースを行い、当初はフリースペースが子どもの居場所であって、そこにたまたまお昼ご飯を作って、会話をして交流をし、子ども達の思いを受け止めていたと思う。参加者の意識の問題ではあるが、今は、料理教室と子どもも保護者も捉えている。家に居場所が無い、食に対する支援が必要な子どもにこのチャンスが届かない現状に、児童館として悩んでいた。児童館として、クッキングの行事を独立してやるのが良いか。調理の設備が整わない中で、調理に重きを置いているのも難しい。西砂小の学区の子どもが遊びに来ることが難しい。であれば、学習館という中立の位置にある、西砂学習館を使い新たなフリースペースを、料理が目的なのか、子どもの居場所が目的なのか、1回見直しても良いかなと思った。

小林：最初の目的は不登校の子ども達の居場所づくりだった。

小笠原：料理教室であれば、学習館でもやっている。あえて児童館のフリースペースとしてやる意味があるのかと思う。児童館を使うのは吝かでは無いが、地運協である以上は学習館に足場を置いたほうが事業として成り立つのではと思う。

石川：学習館に場所を移して実施することは可能。第1実習室は午前午後で使うと利用希望が多い為、迷惑になる。利用を午前か午後で固めると、恒常的に使っている団体からの苦情は来ないと思う。保育室もあるので、人が多くなければ、第1実習室で作った物を保育室に配膳して食事をする事は可能。

大橋：「フリースペース・にしすな」は児童館としては継続が難しいとのこと。

小笠原：正直、関われる職員に限られている。土曜日の学童保育の状況、一般の来館が変化しつつあるなかで、難しいのが事実。衛生的なところも非常に厳しい。

岩元：澤井先生が委員としてここで始められた状況と、今の状況の変化があって変わっていかねばならないと思う。児童館がやるのが難しいという現実があるなら、受け止めるのが大事。子どものニーズに合わせた事業を考えていくことが大事。

小笠原：この名称は消したくないと思っている。消さない為に、どうしたら良い形で復活させられるだろうと考えている。

石川：食べるものを作ると子どもが集まる。食事を作るのは続けたい。

大橋：本質的なところを話したい。児童館が話しているのは当然と思う。地運協の考えていたフリースペースとかけ離れた内容になっている。ここまでやって頂いた館長に感謝を伝えたい。フリースペースに地運協の委員として行っていたが、違うと思った。子どもの居場所づくりは大切と思うのでサマーイベントを始めた。居場所づくりは取り組んで来ていると思う。居場所づくりとして、増やすのは吝かではないが、「フリースペース・にしすな」に込められた思いを戻された経緯が分からない。戻って受け止められるものなのか。

石川：前係長の二橋からは、第一実習室が使えなくなることで苦情があり児童館に引き継いでもらったと聞いている。

大橋：計画の見通しを立てないと地運協としては立ち上げられない。

広瀬：小林委員が地運協として関わっている。

大橋：地運協とするならこの委員全ての関わりが必要。

小林：前に委員の1人から手伝いができないという話がでた。どうしようかと考えた時に、当時児童館館長の関口さんが児童館で引き継いでも良いと受けて下さった。

岩元：地運協の委員でありながらお任せしていて、地運協の事業という認識をほとんど持っていなかった。事業としての継続は、児童館が計画を立て、今できること、今の子どもに必要なことをやってくれようとしている。地運協としてはどうしていくか。

小笠原：献立がレベルの高い料理教室的になっている。献立は子どもが決めている。子ども達の主体性は育ったが、生活力がどこかにいってしまった。

小林：献立は子どもに聞き、発表してもらっている。西砂学習館でフリースペースをしていた時は居場所がメインで活動していた。

岩元：土曜の授業がなくなったので居場所は提供したい。

長谷川：朝ご飯を食べられない子どもがいることに心を痛めていた時に、澤井先生が校長室に炊飯器を入れていた。

小笠原：実際に土日に食事をしていない子どももいる。ただ、フリースペースを開催しても

本当に救いたい子どもは漏れていく。

浅見：地運協としては、フリースペースに対しての期待や、達成する為に行う事を説明がでないといけないと思う。居場所に重きを置くのか、食の支援に重きを置くのか。

大橋：地運協として再度考えていく時間を取りたい。

○ 西砂地区文化会の事業の体験

○ 西砂学習館まつりへの参加

(展示・実行委員会の出席)

石川：大橋会長に殆どの展示物を作ってもらい会長ありきの参加になっている。

(3) その他

3 協議、報告及び連絡事項

(1) 前回の議事内容の確認(議事録)

大橋：何かあれば事務局まで。

(2) 令和3年度第3回西砂川地区地域学校コーディネーター及び西砂学習館地域運営協議会委員の情報・意見交換会

・日時：3月16日(水) 18:00~20:00

・議題：

- ① 地域学校コーディネーターの仕事・学校の様子・課題点の情報共有(年度末なので1年を振り返っての話)
- ② 西砂サマーイベントを紹介してご意見を頂く
- ③ 学習館の目指していること、子どもに対しての学習館の役割を伝える
- ④ 「地域」と「学習館」のフィールドで出来そうなことをピックアップしグループ討議して具体化を進める。

大橋：3回も開催している地運協はどこにもない。生涯学習センター長からの話しでは地域学校コーディネーターと地域学習館職員がもっと親密になり、連携体制を取れるように今年度は進めていきますという段階。ここは親密に連絡を取っているのがクリアしている。顔を見ながら話ができるようになっているのは良いこと。ゆっくり時間をかけて顔合わせをしてお互いの思っていることを打ち合わせができれば良いとのこと。焦る必要はないので肩の荷が少し下りた。

(3) 「西一元氣通信」について

第5号 令和4年4月号(4/15発行)

① A3 二つ折り両面印刷 (A3用紙)

紙面	内 容	納期	担当
1面	タイトル(2/8) 2面以降の目次(1/8) にしすな夜間塾の報告(写真付き)(5/8) ← 消滅 代わりの記事	3/20	事務局 () 事務局
2面 3面	メンバーの自己紹介	3/20	()
4面	講座の紹介?(第4号で掲載したばかり) 地域再発見 西一散歩(阿豆佐味天神社春祭り)・西砂の方言	3/20	()

石川：夜間塾が延期になり1面で掲載できなくなった。

大橋：平井さん作成のチラシを載せて、私たちの思いを伝えることが大切かと思う。

岩元：4面に、地域学校コーディネーターとの話し合いを載せるのが良い。地域再発見はスペースによって、両方載せられたら良い。

(4)「地域学習館運営協議会(第6期)2年間の活動に対する感想と意見」の提出について

石川：3月中に完成させたいと思うので、まだ提出していない方はよろしくお願いします。

(5)「第7期地域学習館運営協議会委員」継続のお願いについて

継続委員 ⇒ 各学習館係長から依頼

市民推進委員会⇒ 市民交流大学係長から依頼

社会福祉協議会⇒ 管理係長から市民活動センター(市内交換便で柳澤さんあてに送付)

青少健 ⇒ 管理係長から市川氏(子ども育成課山部青少年係長に渡す)

文化協会 ⇒ 管理係長から事務局のみやたさん(市内交換便で送付)

※ 承諾書の提出は、令和4年5月9日(月)までのお願いですが、西砂学習館宛には、恐れ入りますが4月中にご提出をお願い致します。

石川：会長と第4号委員学習館利用者の代表の方はこちらから承諾書をお出する。

(6) 西砂学習館各所改修工事について

石川：お気づきの点があればご記入下さい。

(7) フリースペースについて(報告)

大橋：コロナのために今は実施できていない。

(8) 各委員から報告及び連絡事項(報告)

加藤：3月19日「犬との楽しい暮らし方」は実施の方向。

広瀬：80歳を過ぎて身体が億劫になってきているのを実感している。

浅見：3月28日西砂町の地域懇談会を予定。昨年の夏頃、西砂町の住民から交通不便に関する陳情が議会で採択された。実際の交通不便を解決するには道のりが必要で、懇談会で、一度直接聞きたいということで設けた機会。西砂会館で実施を予定。

小笠原：明日の地域交流会は中止。書面にて挨拶をする。子ども達の感染が増えている。現在3月20日の子ども祭に向けて準備をしている。参加は子どもとボランティア学生のみ。

長谷川：青少健では、3月27日と28日に春休みパトロールを予定。

岩元：西砂地区文化会では総会に向けて準備をしている。立川第七中学校の学校運営協議会の委員をしている。3月18日は卒業式、3月25日は修了式を予定。

小林：フリースペースは先ほどお話をした通り。

森：西砂パソコン倶楽部では3月1日、2日スキルアップ講座を実施。欠席者も無く2日間行うことができた。今後も皆さんがやりたいと思う講座をやっていききたい。

俣本：来年度の講座の企画を進めているところ。ひとり親対象の講座、中高生保護者対象の講座を考えている。

平井：西砂学習館では寿教室が3月24日修講式を迎える。4月6日は学習館まつりの実行委員会を予定。3月19日「犬との楽しい暮らし方」は参加者に実施する旨を連絡すると楽しみにしている方が多くいた。

石川：施設面について。学習館入口の自動ドアの調子が悪いので修繕をする。Wi-Fiの工事が終わった。使い方はこれから規則を整備するので5月頃には利用可能になると思う。3月7日は自衛消防訓練を行った。

4 その他

○ 次回の地域学習館運営協議会の日程について

※ 次回開催；今回は、4月14日（木）午後6時～

<配布資料>

- ・〈資料1〉令和3年度 西砂学習館事業予定
- ・〈資料2〉西砂学習館運営協議会 令和3年度地域活性化講座（案）
- ・地域学習館運営協議会（第6期）報告書【西砂抜粋】
- ・西砂学習館運営協議会委員名簿
- ・（参考）委員継続のお願い
- ・（参考）承諾書
- ・（参考）第7期地域学習館運営協議会について
- ・西砂学習館中規模改修に対する要望（西砂学習館係）